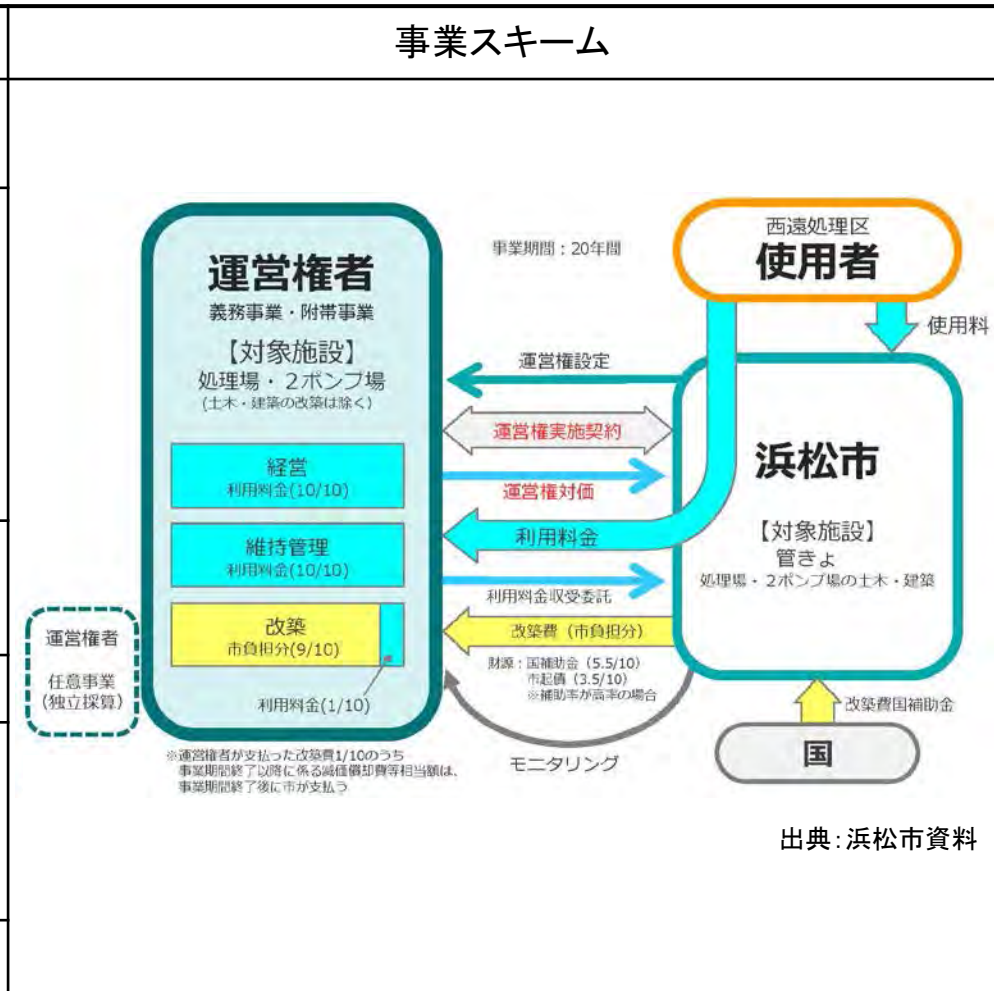


(事例4-1) PFI事業例(コンセッション)①

○浜松市公共下水道終末処理場(西遠処理区)運営事業

発注者	浜松市(静岡県 人口:約80万人)
施設概要	西遠浄化センター及び2ポンプ場(浜名中継ポンプ場、阿蔵中継ポンプ場)
事業内容	<p>①義務事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営 ・改築に係る企画、調整、実施 ・維持管理に係る企画、調整、実施 <p>②関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥可溶化設備の導入による高負荷での消化ガス生成
運営権者	「ヴェオリア・JFEエンジ・オリックス・東急建設・須山建設グループ」が設立した特別目的会社(浜松ウォーターシンフォニー株式会社)
運営権対価	25億円
VFM	14.4%(事業者選定時)
※Value For Money: PFIで実施した場合に、 公共直轄の場合と比べ どれだけ費用が下がるか	
事業期間	20年間(平成30年4月～)



特徴	<p>① 下水道事業初のコンセッション事業</p> <p>② 電気・機械設備の改築更新を含め、民間のノウハウや資金により事業が効率化され、維持管理・改築コストの削減、市職員の増員抑制が可能と見込まれる。</p> <p>③ 市は運営権者から25億円の運営権対価が得られる。</p>
----	--